



たから

～あいさつの響き合う家庭・学校・地域づくり～

夢をかなえ、ふるさとで働く(三中・2年生)

(株)角屋食品の角谷直樹社長にお越しいただき、職業講話の授業が行われました。夢を実現するために、目標を持って計画的に一步一步進むこと。将来、自分の能力(スキルなど)を活かすことを通じて、ふるさとに貢献してほしいと生徒にメッセージをいただきました。

「働く」ということは、自分にできることを生かして周りの人やふるさとを幸せにすること。常にいろいろなことにチャレンジしている角谷さんのお話はもっともっと聞いてみたいと思わせる内容でした。



アジフライカンパニーのコマーシャルを観たことありますか?と角谷社長



暑い中、ありがとうございました



白尾神社で太鼓の練習をしました



こんなに近くで神輿を見るのは初めてです



例祭では、3人の舞姫が浦安の舞を踊りました

地域とともにある学校(外江小)

4年生は総合的な学習の時間に、古徳幹男さん(外江ふるさと協議会会長)から丁左の歴史や地域の人々の思いについて聞きました。「祭りはないけど太鼓を叩きたい。」と子どもたちが言う、「それなら神輿も見せてあげたい。」と頭取の植田篤文さんの呼びかけに、地域の方が西灘神社から白尾神社までお神輿を引いてきてくれました。保護者の方も子どもたちと一緒に参加してくれました。

残念ながら今年も丁左は中止でしたが、「外江の町を盛り上げたい」という子どもたちの思いに、たくさんの方が繋がりを持つことができました。心に残る夏祭りでした。

渡っこ農園(渡小)

渡小学校の前にある「渡っこ農園」では、今たくさんの夏野菜の花が咲いています。「オクラの花って、伯州綿の花にそっくりなんだよ。来週あたりには子どもたちとスイカも収穫できそう。」と水落篤さん。(学校支援ボランティア・CS委員)子どもたちと一緒に苗を植えて、収穫できるまでずっとサポートしてくださっています。子どもたちの笑顔がボランティアの方のエネルギーの源です。



オクラの花



立派なスイカを収穫

5月中頃に三中の卒業生に会いました。高校生活を楽しんでいると話してくれました。別れ際にその子は「7月31日渡日御碕神社のお祭りに行くので、高梨さん次は輪くぐりさんで会いましょうね。」と笑顔で私に言ってくれました。とても嬉しかったと同時に、その子のコミュニケーション能力の高さに驚かされた出来事でした。

文責：高梨 典子(地域学校コーディネーター)